池田町洪水ハザードマップ

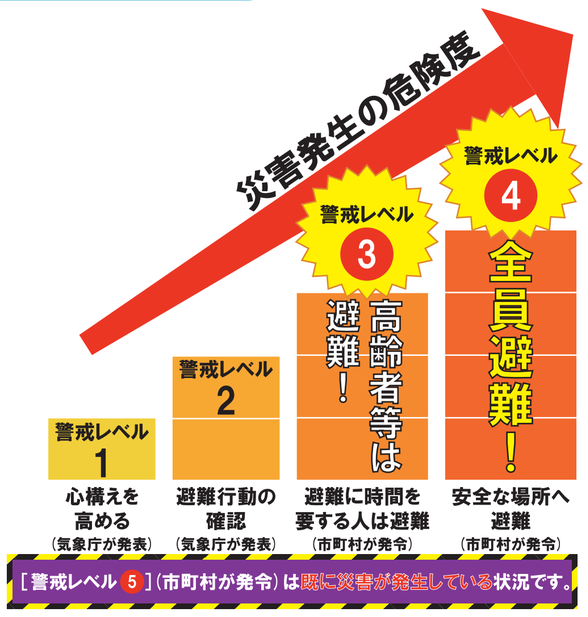
～命を守れる可能性が高い行動を！～

この洪水ハザードマップは、概ね 1,000 年に１回程度の確率で発生しうる大雨により池田町内に洪水被害をもたらす恐れのある河川（揖斐川、杭瀬川、東川、粕川、奥川、深町川および中川）が氾濫した場合の浸水想定を示したものです。

浸水想定として「浸水の範囲や深さ」「浸水が継続する時間」早期の立退き避難が必要な範囲」を示すとともに、大雨により土砂災害が発生する恐れのある区域もあわせて示しています。

この洪水ハザードマップを使用して、自身のまわりで起こり得る災害を確認し、事前の備えや心構えをしてください。
大雨の時には、テレビ、ラジオ、インターネットなどの様々な気象情報や災害関連情報を収集していただくとともに、雨の降り方や周囲の浸水状況、土砂災害の前兆などから危険を感じた場合は、右図の「５段階の警戒レベル」に応じて命を守るための行動を取ってください。

令和２年３月　池田町



■5段階の警戒レベルについて

みなさんが「自らの命は自ら守る」ことができるよう、町や国（気象庁等）が発表する防災気象情報とみなさんがとるべき行動を分かりやすく理解していただくため、５段階の「警戒レベル」により避難情報等を発令します。

●池田町内や河川の上流に雨が降り続く状況においては、大雨や洪水に関する情報を自ら収集・判断し、ハザードマップの確認や非常持ち出し品の準備をするなど、早期の避難行動をとる準備を行なってください。

●町から「避難勧告（警戒レベル 4 ）」や「避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル 3 ）」が発表された際は、速やかに避難行動をとってください。

●これらが発令されていなくても、警戒レベル 3 や 4 に相当する防災気象情報が発表された場合は、自ら避難の判断をしてください。
（警戒レベル 5 は、すでに災害が発生している可能性がある状況です。）

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	避難の情報	防災気象情報（雨）	防災気象情報（河川）
5	命を守って！	災害発生情報	大雨特別警報	氾濫発生情報
4	全員避難	避難勧告 避難指示（緊急）	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
3	高齢者等避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	大雨・洪水警報	氾濫警戒情報
2	避難方法確認	――	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報
1	最新情報に注意	――	早期注意情報	――

警戒レベル4で全員避難 !!

■避難勧告等の発表について

●河川水位や気象状況などから判断して町が発表します。

●この避難勧告等の情報を参考に、周囲の状況に応じて、早めの避難を心がけましょう。

避難指示（緊急）　警戒レベル 4

災害が発生するなど、状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

◆まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難しましょう。
◆外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難を行いましょう。

避難勧告　警戒レベル 4

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

◆速やかに避難場所へ避難をしましょう。
◆外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難準備・高齢者等避難開始　警戒レベル 3

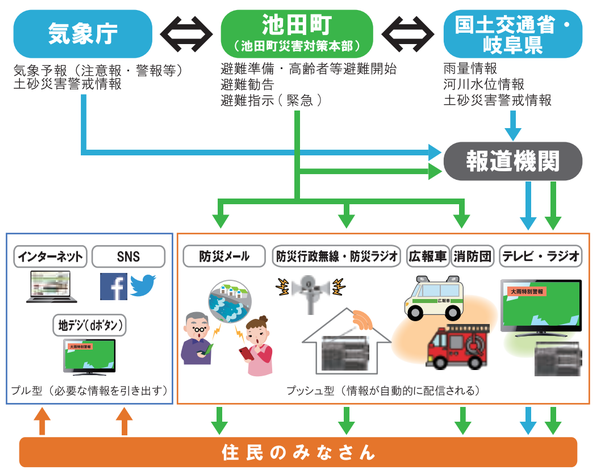
避難勧告や避難指示（緊急）を発令されることが予想される場合

◆避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児、妊娠中の方等）とその支援者は避難を開始しましょう。
◆その他の人は、避難の準備を整えましょう。

■大雨や洪水に関する情報収集の方法

●情報の伝達経路（行政→住民のみなさん）

大雨に関する情報（注意報、警報など）や避難情報（避難勧告など）は、図に示したような経路で皆さんに伝達されます。



→ 町から発令・発表される情報（報道機関などを経由）
→ 国（気象庁等）や県から発表される情報
→ 住民のみなさんが自ら情報収集できる手段

●自ら適切に行動するために入手すべき情報

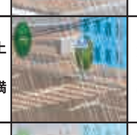
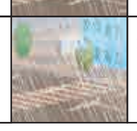
池田町防災メール配信サービス

池田町では、災害・防災情報や町からの緊急のお知らせを携帯電話やパソコンにメールでお届けする無料の「防災メール」配信を行っています。利用するには登録が必要となります。
●登録方法（下記①、②のいずれかで登録できます。）
①カメラ機能付き携帯電話で右の QR コードを読み取り、サイトに接続後、手順に従って登録をしてください。
②下記メールアドレスに空メールを送り、返信されたメールに記載されている手順に従って登録をしてください。
t-ikeda-town@sg-m.jp
パソコンの場合は以下の URL から登録できます。
https://service.sugumail.com/ikeda-town/member

岐阜県等からの防災情報について

●岐阜県川の防災情報
岐阜県と国土交通省・気象庁が観測した岐阜県域の雨量・水位情報、河川の状況、注意報・警報の発令状況等をリアルタイムで提供しています。
https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/#/
●ぎふ土砂災害警戒情報ポータル
土砂災害から県民の皆さんの生命・財産を守るため、土石流・崖崩れ警戒情報等を提供しています。
http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/
●岐阜地方気象台
岐阜の気象に関する情報を提供しています。
https://www.jma-net.go.jp/gifu/
●池田町ホームページ
池田町ホームページでも防災情報を見ることができます。
https://www.town.gifu-ikeda.lg.jp/

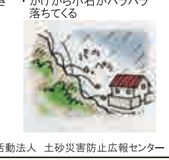
■雨の降り方の程度

やや強い雨	10mm 以上～20mm 未満		地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。
強い雨	20mm 以上～30mm 未満		土砂降りの雨です。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ小河川の氾濫や崖崩れの心配もあります。テレビ、ラジオなどで今後の様子を注意し、長引きそうなら避難の心構えをしましょう。
激しい雨	30mm 以上～50mm 未満		バケツをひっくり返したような激しい雨です。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われますので避難の準備をしましょう。
非常に激しい雨	50mm 以上～80mm 未満		滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害の発生の可能性が高まります。
猛烈な雨	80mm 以上～		滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

すでに浸水した道を徒歩で避難する場合には、下記のようなことに十分注意が必要です。

●水の流れがある場合、水深30cm程度でも歩行が困難になります。
（成人男性でも通常の数倍の時間がかかります。）
●濁った水の下では足元が見えないため、段差や側溝、ふたの空いたマンホールに足を取られるなどの危険があります。

■土砂災害の主な前兆現象

土石流		・山鳴りがする ・川の水がにごり、水と一緒に倒れた木が流れてくる ・雨は降り続いているのに川の水が減る ・木の裂ける音がする
地すべり		・地面にひびわれて段差ができる ・井戸水が濁る
がけ崩れ		・がけから急に水がわき出る ・がけから小石がパラパラ落ちてくる 

イラスト：特定非営利活動法人　土砂災害防止広報センター

●このような現象を察知した場合は、土砂災害が起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

●土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げても追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角の方向に逃げるようにしましょう。

■平常時の心構え

非常持出品の事前準備を!

避難するときの荷物を事前に準備し、定期的に点検を行ないましょう。一般的に必要なものだけでなく、自分の家族に必要なものがないか、家族でよく話し合いましょう。

安全な避難路の事前確認を!

避難所までの経路（避難路）はあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。また、実際に歩いてみて、予期せぬ危険がないか考えてみましょう。

避難訓練に参加しましょう!

実際に水害が発生した場合に起こり得る危険や、避難の手順やタイミングについて考えることはとても大事です。機会として、地域の避難訓練や防災訓練に参加しましょう。

要配慮者に声がけを!

要配慮者（高齢者、障がい者、外国人の方、乳幼児、妊娠中の方等）は、避難行動時に補助が必要な場合があります。お互いに助け合って安全に避難しましょう。

■避難時の心得

避難する前に自衛策を!

避難する前に、土のうで浸水被害を減らすなど自衛策をとりましょう。また、避難前に外出先の家族や親戚などに避難する旨を連絡しておきましょう。

安全な服装をして徒歩で避難を!

車での避難は、浸水で動けなくなったり、交通渋滞を招く恐れがあります。動きやすい格好をして、徒歩（安全のため２人以上で）の避難を心がけましょう。

明るい時間帯に避難を!

夜間の避難は、避難路の危険が増すため、明るいうちに避難しましょう。夜間に避難せざるを得ない場合もあるので、事前に直近の安全な避難場所や経路を調べておきましょう。

状況に応じた避難行動を!

水害発生時は、自宅周辺の浸水状況など様々な状況に応じた避難行動をとる必要があります。情報収集し、右の避難行動のフローも参考に適切な避難行動をとってください。

■早期の避難が必要な場合

家屋倒壊等氾濫想定区域内に自宅（建物）がある場合

●氾濫流
はん濫した洪水の流れが速く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域

●河岸侵食
洪水の際に河岸が削り取られ、家屋が倒壊するおそれのある区域

堤防決壊により家屋が流出した状況

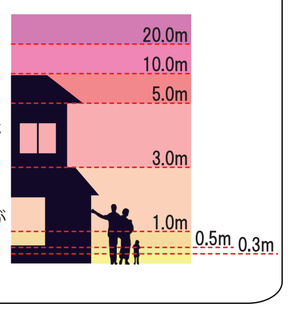
浸食により家屋が流出した状況

浸水深が深いか、浸水継続時間が長くなる恐れがある場合

洪水ハザードマップを確認し、自宅の周辺が下記のような状況であれば、自宅待機（垂直避難）することはとても危険ですので、早期避難してください。

●自宅の最上階まで浸水するおそれがある

●自宅周辺の浸水継続時間が長く、水が引くまで孤立してしまうおそれがある



■避難行動のフロー

自宅が『浸水想定区域』内にある
→ NO → ハザードマップで示されていない区域での浸水も起こり得るため、情報収集は必要!
↓ YES
自宅が『家屋倒壊等危険区域』の範囲内にある
- YES → 『河岸浸食』のおそれがある区域内にある
- YES → 『氾濫流』のおそれがある区域内にある
- NO → 自宅の床上まで浸水する可能性がある

『河岸浸食』のおそれがある区域内にある → YES → 警戒レベル3以上の場合 早期に安全な場所に避難!
『氾濫流』のおそれがある区域内にある → YES → 自宅が木造である
- YES → 警戒レベル3以上の場合 早期に安全な場所に避難!
- NO → 自宅の床上まで浸水する可能性がある

自宅の床上まで浸水する可能性がある → YES → 警戒レベル3以上の場合 早期に安全な場所に避難!
自宅の床上まで浸水する可能性がある → NO → 自宅周辺の浸水状況に応じて、自宅待機（垂直避難）も含めて最も安全な避難行動を選択する

警戒レベル3以上の場合 早期に安全な場所に避難!
- 避難所
- 自宅以外の安全な場所

非常持ち出し品の用意

非常持出品
（災害発生時に持ち出すもの）

生活用品
□携帯ラジオ　□懐中電灯（予備の乾電池）
□水筒　□紙コップ　□缶切り
□割りばし　□紙皿　□万能ナイフ
□ペットボトル

救急医療品
□ばんそうこう　□包帯
□消毒液　□傷薬　□かぜ薬
□湿布薬　□胃腸薬　□持病の薬

非常食
□飲料水　□アルファ米　□缶詰
□カンパン　□レトルト食品

貴重品
□現金（小銭も）　□印鑑　□預貯金通帳
□免許証（コピー）　□保険証（コピー）　□携帯電話
□各種カード　□家・車のキー

その他（必要に応じて持出品に）
□衣類（着替え）　□タオル　□予備のメガネ
□キッチン用ラップ　□ウェットティッシュ　□ゴミ用ポリ袋
□雨具　□お薬手帳　□母子手帳
□粉ミルク　□ほ乳びん　□紙おむつ
□生理用品　□ライター　□軍手
□マスク　□カイロ　□笛
□アドレス帳（連絡先を記載したもの）　□筆記用具（油性ペン）
□携帯電話の予備バッテリー　□ヘルメット・防災ずきん

▶災害発生時など非常時に持ち出すものを、家族構成にあわせて必要最小限に絞り込みリュックになどに入れ一度背負ってみましょう。

▶男性は15kg、女性は10kgぐらいで、両手を自由に動かすことができるか確認してみましょう。

▶水は1人当たり1日に3リットルを目安に、長期間保存可能な水を用意しておきましょう。

備蓄品
（復旧までの数日間（最低3日、出来れば7日）分準備するもの）

▶地域によっては、2日以上の長期にわたる避難が予想されますので、避難の際はあらかじめ長期避難に必要な必需品を用意しましょう。

生活用品
□新聞紙　□洗面用具　□バケツ
□カセットコンロ（燃料）　□紙食器
□ライター　□フード付雨カッパ
□裁縫道具　□石けん　□生理用品
□万能ナイフ　□布ガムテープ
□タオル　□軍手　□ろうそく
□レジャーシート　□ひも
□くつ・スリッパ　□ティッシュ
□ラップ・アルミホイル　□簡易トイレ

非常食
□飲料水（1人1日3リットル）　□アルファ米
□カンパン　□缶詰
□レトルト食品　□調味料
□チョコレートなどの菓子類

衣類
□着替え用衣類・靴下　□帽子
□着替え用肌着　□毛布　□マスク

我が家の防災メモ

集合場所		指定緊急避難場所		指定避難所	
家族の氏名	生年月日	血液型	連絡先（勤務先・学校）	電話番号	病気・アレルギー・常備薬等

我が家のオリジナルマップ

避難所の位置や避難経路を事前に調べて、下記に記入しましょう。

池田町の他のハザードマップ

池田町のハザードマップは、このマップのほかに「土砂災害ハザードマップ」などがあります。
このマップとあわせて災害時の危険から命を守るための情報を町のホームページなどで入手して下さい。

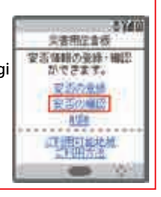
いざというときの連絡先

池田町役場	45-3111
北部消防署	45-3733
池田交番	45-3102

家族・知人への安否確認

●災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言版（web171）
災害時に電話やインターネット(https://www.web171.jp)を利用して、被災地の方の安否確認を行う伝言版です。

利用方法と利用イメージ
伝言の録音方法 「171」▸「1」 連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル ▸伝言を入れる
伝言の再生方法 「171」▸「2」 連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル ▸伝言を聞く

●災害用音声お届けサービス
スマートフォン等の対応端末から、以下のアプリケーションにより、音声メッセージの送信ができるサービスです。
NTT ドコモ 「災害用キット」　ソフトバンク 「災害用伝言板」
KDDI（au） 「au 災害対策」　ワイモバイル 「災害用伝言板」

●災害用伝言版
被災地の方が伝言を文字で登録し、全国から伝言を確認できます。
NTT ドコモ
http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
KDDI（au）
http://dengon.ezweb.ne.jp/
ソフトバンク
http://dengon.softbank.ne.jp/
ワイモバイル
http://dengon.ymobile.jp/info/